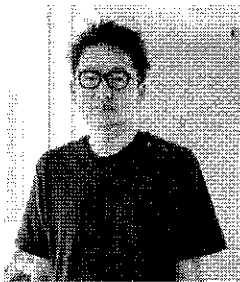


(長崎県歯科医師会) 令和7年度学術研修会のご案内

この度、長崎県歯科医師会では令和7年度学術研修会を下記のとおり開催いたします。
本研修会は、糖尿病管理について歯科からどのように発信していくか、また、糖尿病患者の
歯周治療で中心となる歯科衛生士の役割や、医療連携のあり方などについて考える機会と考
えております。
ご多用中とは存じますが、皆様には、奮ってご参集下さいますようご案内申し上げます。

日 時：令和7年5月25日（日曜）午前10時～午後1時
場 所：長崎県歯科医師会館（長崎市茂里町3-19）
対 象：会員およびスタッフ、他職種
申込方法：裏面「参加申込書」に必要事項を記入の上、お申込みください。

「地域の健康ステーションとなる歯科医院のこれから」



講 師

（愛知県開業）かすみり・おしむら
歯科・矯正歯科口腔機能クリニック
院長 押村憲昭 先生

【略 歴】

2010年 愛知学院大学歯学部 卒業
2011年 敬天堂歯科 勤務
2015年 医療法人大里会 勤務
2017年 おしむら歯科 勤務
2020年6月 かすみり・おしむら歯科
開院
朝日大学歯学部大学院在学中

【所属学会】

日本歯内療学会、日本歯周病学会、
日本臨床歯周病学会、日本顎咬合学会、
日本皮膚免疫アレルギー学会、
日本糖尿病学会

【抄 録】

人生100年時代と言われる今、歯科医院の真にあるべき姿とはなんだろうか。

これからの医療に求められることは、口腔内の疾患を治すことだけでなく妊産婦から乳幼児、そしてそこから患者の人生に寄り添いながら、高齢者にいたるまでを見守り続けることにあるのではないのでしょうか。

分科が基本となる医科とは異なり、予防の概念も普及してきており、定期通院が当たり前になりつつある歯科医院には生涯一人の患者様に携わることのできる連続性が存在する。また、20代、30代といった全身の疾患が未病の段階でも歯科医院に定期通院されている患者様は増えてきている。このように医療においては稀な条件を持つ歯科において、かかりつけ歯科医やかかりつけ歯科衛生士による未病への挑戦こそがこれから必要なのではないのか。

定期的な通院が可能な歯科医院だからこそ様々なアンテナを張れば患者様の健康にもっともっと寄り添えるのではないだろうか。そして、地域の医療機関と連携し患者様の全身の健康を地域で守る取り組みができるのではないだろうか。

超高齢社会を迎えた日本における全身疾患やフレイルの問題は、これからの医療においてますます大きな課題となってくる。真に社会に求められ、真に社会に認められ、そして歯科の価値を上げるために必要な取り組みとはどのようなものだろうか。

主催：一般社団法人 長崎県歯科医師会
共催：一般社団法人 長崎県歯科衛生士会

(長崎県歯科医師会) 令和7年度学術研修会 参加申込書

日時：令和7年5月25日（日曜）10：00～13：00
場所：長崎県歯科医師会館（長崎市茂里町3-19）

10：00 開会・挨拶

10：10 第1部 講演「地域の健康ステーションとなる歯科医院のこれから」
（愛知県開業）かすみり・おしむら歯科・矯正歯科口腔機能クリニック
院長 押村憲昭 先生

11：30 休憩

11：40 糖尿病関連ツール紹介（長崎県歯科医師会地域保健委員会）

12：00 第2部 シンポジウム
（押村憲昭 先生、長崎県歯科医師会学術委員会、地域保健委員会、
長崎県歯科衛生士会）

12：40 質疑応答

13：00 閉会

下記に必要事項を記載の上、5月17日（土曜）までに

FAX（095-846-0175）にてお申込みください。

氏名	フリガナ	職種	勤務先

問合せ先：長崎県歯科医師会事務局 TEL 095-848-5311

※会場駐車場は長崎県歯科医師会会員専用ですので、公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

※本研修会は会場参加のみとなります。